

## 決算認定 特別委員会 審査報告

平成28年10月24日から28日の4日間にわたり決算認定特別委員会を開催し、理事者及び関係課長等の出席を求め、付された各種会計並びに公営企業会計の決算審査を行ったもので、付された事件はいずれも認定すべきものと決定した。

### ○審査意見

歳入は、町税が伸びをみせ昨年度に引き続き3億円を超えた一方で、地方交付税が減少し、依存財源に頼る財政運営において非常に厳しいものがあり、今後の地方交付税の動向を的確に把握するとともに、自主財源の確

保に努めてもらいたい。歳出は、補助事業の減少に対し、単独事業が増加している状況にある。今後一層の健全に努めてもらいたい。

特別会計は、下水道施設等の経年劣化対策、簡易水道事業の排水管の更新等、介護保険及び国民健康保険財政等多くの課題を抱えている。

公営企業会計は、入院患者は増加しているものの、外科外来の休診、院外処方開始等により減少している。地域医療の継続のためにもさらなる経営収支の改善と患者サービスの向上に努めてもらいたい。

審査の最終日に、理事者の見解を求めた。

①平成26年度決算理事者見解の対応

(1)前年度に引き続き1億円を超える不用額の対応  
(2)税及び使用料等の滞納



繰越額増加に対する対策

②産業の振興

林業・林産業の状況と今後の展望及び手延べ麵の高齢化に伴う支援策

③サンルダム完成に向けた今後の展望

④放課後児童対策

⑤除雪対策

理事者からの回答は、

①平成26年度決算理事者見解は、不用額は、補正予算編成時に執行状況を

的確に把握し、適切な時期に補正減するよう努めたい。

滞納は、滞納者に対し手続きをしっかりと取り税収の確保に努めたい。

②産業の振興は林業・林産業の現状は森林所有者、経営者、林業従事者従業員の高齢化に伴う後継者問題、担い手不足、また、機械の老朽化等多くの課題がある。8社9工場の維持が図られるよう支援したい。

手延べ麵業者の支援はタウンプロモーション推進部で人材の発掘、後継者育成、起業発掘などを進めたい。

③サンルダム完成に向けた今後の展望、事業所と協議を進め、サンルダム周辺整備計画に基づき下

川らしい特色のある整備を柔軟に対応したい。

④放課後児童対策は、教育委員会と保健福祉課が

連携を図り課題は関係者とヒヤリングを行い児童室運営に取り組みたい。  
⑤除雪対策は、市街地、郊外併せて民間委託することにより効率化を図られ、バトロール業務を重点化することにより細やかな住民サービスが可能となる。

結びとして、地方交付税交付金の減少等地方財政が厳しさを増す中、健全財政を維持しながら、新しい事業に積極的に取り組み、成果を上げていくことは評価できるものであるが、事業実施にあたっては、町民の事業に対する後年度負担を心配する声が多く、正確な情報提供を行い合意形成が図られることを強く希望し、今回の決算認定特別委員会でも明確になった課題に対する具体的な解決策が、新年度予算に反映されることを期待したい。